



平成27年12月期 第1四半期決算短信〔日本基準〕(連結)

平成27年5月11日 東

上場会社名 株式会社メディアフラッグ 上場取引所
 コード番号 6067 URL <http://www.mediaflag.co.jp/>
 代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 福井 康夫
 問合せ先責任者 (役職名) 取締役管理部長 (氏名) 中園 利宏 (TEL) 03 (5464) 8321
 四半期報告書提出予定日 平成27年5月15日 配当支払開始予定日 —
 四半期決算補足説明資料作成の有無 : 無
 四半期決算説明会開催の有無 : 無

(百万円未満切捨て)

1. 平成27年12月期第1四半期の連結業績 (平成27年1月1日～平成27年3月31日)

(1) 連結経営成績(累計) (%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
27年12月期第1四半期	2,000	34.3	98	77.3	91	91.3	55	202.2
26年12月期第1四半期	1,489	114.8	55	34.8	48	18.2	18	△1.9

(注) 包括利益 27年12月期第1四半期 55百万円(255.0%) 26年12月期第1四半期 15百万円(△21.2%)

	1株当たり 四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり 四半期純利益
	円 銭	円 銭
27年12月期第1四半期	12.17	11.46
26年12月期第1四半期	4.33	4.08

(2) 連結財政状態

	総資産		純資産		自己資本比率
	百万円	百万円	百万円	百万円	%
27年12月期第1四半期	5,640	1,245	1,245	1,245	21.9
26年12月期	5,567	1,203	1,203	1,203	21.5

(参考) 自己資本 27年12月期第1四半期 1,236百万円 26年12月期 1,194百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
26年12月期	—	0.00	—	3.00	3.00
27年12月期	—	—	—	—	—
27年12月期(予想)	—	0.00	—	3.00	3.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

3. 平成27年12月期の連結業績予想 (平成27年1月1日～平成27年12月31日)

(%表示は、通期は対前期、四半期は対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
第2四半期(累計)	3,894	28.4	154	126.5	135	145.5	78	—	17.13
通期	8,000	15.4	400	20.5	360	20.0	210	44.8	46.14

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

※ 注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動 : 無
(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動)
新規 一社、除外 一社

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 無

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無
- ② ①以外の会計方針の変更 : 無
- ③ 会計上の見積りの変更 : 無
- ④ 修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数 (普通株式)

① 期末発行済株式数 (自己株式を含む)	27年12月期1Q	4,582,794株	26年12月期	4,580,994株
② 期末自己株式数	27年12月期1Q	30,106株	26年12月期	30,106株
③ 期中平均株式数 (四半期累計)	27年12月期1Q	4,551,041株	26年12月期1Q	4,229,866株

※ 四半期レビュー手続の実施状況に関する表示

この四半期決算短信は、金融商品取引法に基づく四半期レビュー手続の対象外であり、この四半期決算短信の開示時点において、四半期連結財務諸表に対する四半期レビュー手続は実施中です。

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用にあたっての注意事項等については、添付資料「1. 当四半期決算に関する定性的情報 (3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	4
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	4
2. サマリー情報(注記事項)に関する事項	5
(1) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用	5
(2) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示	5
3. 四半期連結財務諸表	6
(1) 四半期連結貸借対照表	6
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	8
四半期連結損益計算書	
第1四半期連結累計期間	8
四半期連結包括利益計算書	
第1四半期連結累計期間	9
(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	10
(継続企業の前提に関する注記)	10
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	10
(セグメント情報等)	10

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する説明

当第1四半期連結累計期間におけるわが国経済は、個人消費が底堅い動きとなっており、企業収益に改善の動きが見られ、雇用情勢は改善傾向が続くなど、全体として緩やかな回復基調が続きました。

このような経済状況の中、当社グループの主な事業領域である消費財メーカー等への営業支援の分野及び流通小売業等への覆面調査を提供する流通支援の分野では、販売促進のための店舗店頭の改善と強化が重視される傾向が強くなり、また、効率化や省力化のためのアウトソーシングのニーズも高まりました。さらに海外では、特にアジア地域において日本の流通小売業の持つ店舗店頭の改善と店舗展開のノウハウを求める傾向が強くなっておりま

す。当社グループでは、このような事業環境に対応して既存顧客からの受注拡大と新規顧客獲得のための提案活動に注力したことにより、営業支援事業及び流通支援事業ともに顧客基盤と収益の拡大を実現いたしました。また、平成26年7月に100%連結子会社化した小型デジタルサイネージの開発・販売を行う株式会社impactTVと当社グループの商品・サービスを相互に新規営業先及び既存取引先に対して提案することでグループシナジーを実現し、売上高並びに利益を拡大いたしました。さらに海外では、インドを中心としたアジア地域において現地流通小売業向けのコンサルティングサービスを提供してまいりました。

以上の結果、当第1四半期連結累計期間における売上高は2,000,140千円(前年同期比34.3%増)、営業利益は98,998千円(同77.3%増)、経常利益は91,936千円(同91.3%増)、四半期純利益は55,394千円(同202.2%増)となりました。

(参考)

(単位：千円)

	売上高	前年同期 増減率	営業利益	前年同期 増減率	経常利益	前年同期 増減率	四半期純利益	前年同期 増減率
連結業績	2,000,140	+34.3%	98,998	+77.3%	91,936	+91.3%	55,394	+202.2%

なお、当社グループの主な企業の当第1四半期連結累計期間における各社単体業績は次の通りであります。

(単位：千円)

会社名	売上高	前年同期 増減率	営業利益	前年同期 増減率	経常利益	前年同期 増減率	四半期純利益	前年同期 増減率
(株)メディアフラッグ	977,312	+17.9%	79,938	+11.6%	78,590	+13.0%	48,713	+22.1%
(株)impactTV(注1)	331,882	△16.4%	50,166	+104.5%	50,219	+103.6%	46,551	+88.8%
(株)MEDIAFLAG沖縄	50,032	+15.0%	4,570	+223.8%	6,291	+334.0%	4,561	+639.8%
cabic(株)	151,644	+5.4%	4,196	+277.4%	4,218	+258.3%	4,076	+230.0%
梅地亜福(上海)管理諮詢有限公司	4,803	+73.8%	124	+107.8%	125	+109.1%	125	+109.1%
K9(株)	11,465	+98.7%	△1,855	+82.9%	△1,924	+82.3%	△1,910	+82.5%
(株)十勝たちばな(注2)	522,830	+2.3%	△13,628	△219.1%	△18,516	△281.0%	△19,151	△380.0%
その他2社	12,502	+93.8%	△261	+87.9%	11	+100.6%	△84	+96.1%

- (注) 1. 株式会社impactTVは当社が平成26年7月1日に株式を100%取得し連結子会社化しており、前年同期は連結子会社ではありません。表中の前年同期比は当社が株式を取得する前の同社の業績を基に算出しております。
2. 株式会社十勝たちばなは平成26年6月1日付で旧株式会社十勝と旧株式会社たちばなが合併した企業であります。表中の前年同期比は旧株式会社十勝の業績と旧株式会社たちばなの前年同期の業績を単純合算して算出しております。
3. 利益についての前年同期増減率については、損益の増減分を前期実績値で除して算出しており、損益が改善された場合はプラス表示、損益が悪化した場合はマイナス表示しております。

セグメント別の業績は次の通りであります。

営業支援事業におきましては、リアルショップサポートの新規案件の受注及び、各メーカーが実施するキャンペーンや新商品の発売に合わせた推奨販売サービスの新規受注の拡大に加え、小型デジタルサイネージの開発・販売を行う子会社株式会社impactTVの売上高が好調に推移し、売上高は1,028,143千円(前年同期比77.4%増)、セグメント利益は143,642千円(同93.3%増)となりました。

流通支援事業におきましては、地方銀行等の金融機関や高速道路のサービスエリア等での調査店舗数が順調に推移し、また海外においてインド、インドネシア、中国で現地流通小売業向けコンサルティングサービスを提供してまいりました。この結果、売上高は244,299千円(前年同期比20.2%増)、セグメント利益は111,833千円(同19.2%

増)となりました。

ASP事業におきましては、既存顧客からのカスタマイズの受注に加え、新規顧客の獲得を実現しました。この結果、売上高は22,319千円(前年同期比59.5%増)、セグメント利益は17,284千円(同42.9%増)となりました。

ストア事業におきましては、前年同期は消費税増税前の駆け込み需要があったため当1四半期連結累計期間の売上高は前年同期比で若干減少したものの、利益については、前年同期の沖縄料理店「古都首里」の閉店による費用削減により黒字回復いたしました。この結果、売上高は183,890千円(前年同期比1.6%減)、セグメント利益は2,334千円(前年同期は620千円の損失)となりました。

事業再生に取り組んでいる和菓子製造販売事業におきましては、年末年始の需要、百貨店や駅ビル等商業施設における催事の積極展開、並びに沖縄での新店舗展開により売上高が順調に推移する一方で、新規出店や原材料等の在庫見直し等に費用が掛かりました。この結果、売上高は522,825千円(前年同期比3.4%増)、セグメント損失は23,162千円(前年同期は12,689千円の利益)となりました。

(2) 財政状態に関する説明

当第1四半期連結会計期間末における総資産は、前連結会計年度末と比べ73,778千円増加し、5,640,827千円となりました。

流動資産は、前連結会計年度末と比べ125,315千円増加し、2,677,660千円となりました。これは現金及び預金の増加311,791千円、受取手形及び売掛金の減少201,659千円等によるものであります。

固定資産は、前連結会計年度末と比べ51,537千円減少し、2,963,166千円となりました。これはのれんの減少26,988千円等によるものであります。

当第1四半期連結会計期間末における負債は、前連結会計年度末と比べ31,296千円増加し、4,395,132千円となりました。

流動負債は、前連結会計年度末と比べ112,440千円減少し、1,871,258千円となりました。これは未払法人税等の減少67,306千円等によるものであります。

固定負債は、前連結会計年度末と比べ143,736千円増加し、2,523,873千円となりました。これは長期借入金の増加147,445千円等によるものであります。

当第1四半期連結会計期間末における純資産は、前連結会計年度末と比べ42,482千円増加し、1,245,695千円となりました。これは利益剰余金の増加41,741千円等によるものであります。

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

当第1四半期連結累計期間における連結業績につきましては、平成27年2月13日に公表致しました連結業績予想に対し、現時点における変更はありません。

今後、経済情勢や業務の進捗状況等により変動の可能性が生じた場合には速やかに開示してまいります。

2. サマリー情報(注記事項)に関する事項

(1) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用

該当事項はありません。

(2) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

該当事項はありません。

3. 四半期連結財務諸表

(1) 四半期連結貸借対照表

(単位：千円)

	前連結会計年度 (平成26年12月31日)	当第1四半期連結会計期間 (平成27年3月31日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	1,061,329	1,373,121
受取手形及び売掛金	1,057,021	855,362
商品及び製品	250,433	295,854
仕掛品	29,107	21,823
原材料及び貯蔵品	77,437	67,403
その他	78,929	65,850
貸倒引当金	△1,914	△1,756
流動資産合計	2,552,344	2,677,660
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物	2,394,795	2,396,861
機械装置及び運搬具	676,461	676,461
土地	1,628,925	1,628,925
その他	613,360	615,577
減価償却累計額	△3,133,617	△3,159,952
有形固定資産合計	2,179,925	2,157,872
無形固定資産		
のれん	464,308	437,319
その他	84,214	81,588
無形固定資産合計	548,522	518,907
投資その他の資産	286,256	286,386
固定資産合計	3,014,703	2,963,166
資産合計	5,567,048	5,640,827
負債の部		
流動負債		
買掛金	150,167	150,547
短期借入金	650,000	664,000
1年内返済予定の長期借入金	536,687	597,502
未払法人税等	100,603	33,296
ポイント引当金	5,751	7,008
その他	540,490	418,904
流動負債合計	1,983,698	1,871,258
固定負債		
長期借入金	2,315,026	2,462,471
資産除去債務	39,647	38,920
その他	25,464	22,481
固定負債合計	2,380,137	2,523,873
負債合計	4,363,835	4,395,132

(単位：千円)

	前連結会計年度 (平成26年12月31日)	当第1四半期連結会計期間 (平成27年3月31日)
純資産の部		
株主資本		
資本金	287,603	287,911
資本剰余金	472,933	473,241
利益剰余金	436,002	477,743
自己株式	△10,054	△10,054
株主資本合計	1,186,484	1,228,842
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	481	513
為替換算調整勘定	7,278	6,959
その他の包括利益累計額合計	7,759	7,473
少数株主持分	8,968	9,379
純資産合計	1,203,212	1,245,695
負債純資産合計	5,567,048	5,640,827

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書

四半期連結損益計算書

第1四半期連結累計期間

(単位：千円)

	前第1四半期連結累計期間 (自平成26年1月1日 至平成26年3月31日)	当第1四半期連結累計期間 (自平成27年1月1日 至平成27年3月31日)
売上高	1,489,390	2,000,140
売上原価	876,246	1,228,425
売上総利益	613,143	771,715
販売費及び一般管理費	557,292	672,716
営業利益	55,850	98,998
営業外収益		
受取利息	467	348
受取配当金	9	10
助成金収入	900	1,538
その他	976	2,351
営業外収益合計	2,353	4,250
営業外費用		
支払利息	9,920	10,826
その他	225	485
営業外費用合計	10,146	11,312
経常利益	48,058	91,936
特別利益		
固定資産売却益	1,362	-
特別利益合計	1,362	-
特別損失		
固定資産除却損	1,142	1,104
特別損失合計	1,142	1,104
税金等調整前四半期純利益	48,277	90,831
法人税、住民税及び事業税	27,174	30,725
法人税等調整額	3,282	4,300
法人税等合計	30,456	35,026
少数株主損益調整前四半期純利益	17,820	55,805
少数株主利益	△509	410
四半期純利益	18,329	55,394

四半期連結包括利益計算書
第1四半期連結累計期間

(単位：千円)

	前第1四半期連結累計期間 (自平成26年1月1日 至平成26年3月31日)	当第1四半期連結累計期間 (自平成27年1月1日 至平成27年3月31日)
少数株主損益調整前四半期純利益	17,820	55,805
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	4	32
為替換算調整勘定	△2,186	△318
その他の包括利益合計	△2,181	△286
四半期包括利益	15,639	55,519
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	16,148	55,108
少数株主に係る四半期包括利益	△509	410

(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(セグメント情報等)

【セグメント情報】

前第1四半期連結累計期間(自平成26年1月1日至平成26年3月31日)

報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:千円)

	報告セグメント						調整額 (注1)	四半期連結 損益計算書 計上額 (注2)
	営業支援 事業	流通支援 事業	ASP事業	ストア 事業	和菓子 製造販売 事業	計		
売上高								
外部顧客への売上高	579,442	203,225	13,993	186,865	505,862	1,489,390	—	1,489,390
セグメント間の内部 売上高又は振替高	—	—	—	—	—	—	—	—
計	579,442	203,225	13,993	186,865	505,862	1,489,390	—	1,489,390
セグメント利益 又は損失(△)	74,303	93,805	12,093	△620	12,689	192,271	△136,420	55,850

(注) 1. セグメント利益又は損失(△)の調整額△136,420千円は、各報告セグメントに配賦していない全社費用であり、主に報告セグメントに帰属しない一般管理費であります。

2. セグメント利益は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

当第1四半期連結累計期間(自平成27年1月1日至平成27年3月31日)

報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:千円)

	報告セグメント						調整額 (注1)	四半期連結 損益計算書 計上額 (注2)
	営業支援 事業	流通支援 事業	ASP事業	ストア 事業	和菓子 製造販売 事業	計		
売上高								
外部顧客への売上高	1,027,703	243,789	22,319	183,890	522,437	2,000,140	—	2,000,140
セグメント間の内部 売上高又は振替高	440	510	—	—	387	1,338	△1,338	—
計	1,028,143	244,299	22,319	183,890	522,825	2,001,478	△1,338	2,000,140
セグメント利益 又は損失(△)	143,642	111,833	17,284	2,334	△23,162	251,933	△152,934	98,998

(注) 1. セグメント利益又は損失(△)の調整額△152,934千円は、各報告セグメントに配賦していない全社費用であり、主に報告セグメントに帰属しない一般管理費であります。

2. セグメント利益は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。